

11. 復興に向けて



11. 復興に向けて

11.1 港勢の回復状況

震災により壊滅的な被害を受けた公社の港湾施設は、1997年(平成9年)3月に復旧工事が全て完了した。

震災直後のコンテナ貨物等の国内沿岸輸送においては、外航船においても緊急時の超法規的処置として特別許可がなされ輸送が行えることとなった。

これにより、ヤード内の滞留貨物の搬出が早期に行え、復旧工事の早期着手も可能となった。

また、コンテナ荷役においては港湾労働者の雇用及び就労の確保と港の復興を図るため、コンテナ暫定復旧バースにおける日曜祝日を含む24時間のフル操業体制が2年間の期限付きではあるが可能となった。

しかし、神戸港で取り扱われていた貨物は、港の使用ができないため他港へ一時的にシフトすることとなり、取扱い貨物量は激減するという状況に陥った。

緊急及び暫定復旧による岸壁の使用が可能となり、貨物の回復率は、1995年(平成7年)において前年比の約50%弱となった。

前期本格復旧が完了する1996年(平成8年)における貨物の回復率は、1994年(平成6年)比の約80%弱であり、復旧工事が完了する1997年(平成9年)においても回復率は震災前の約80%弱と推計されている。

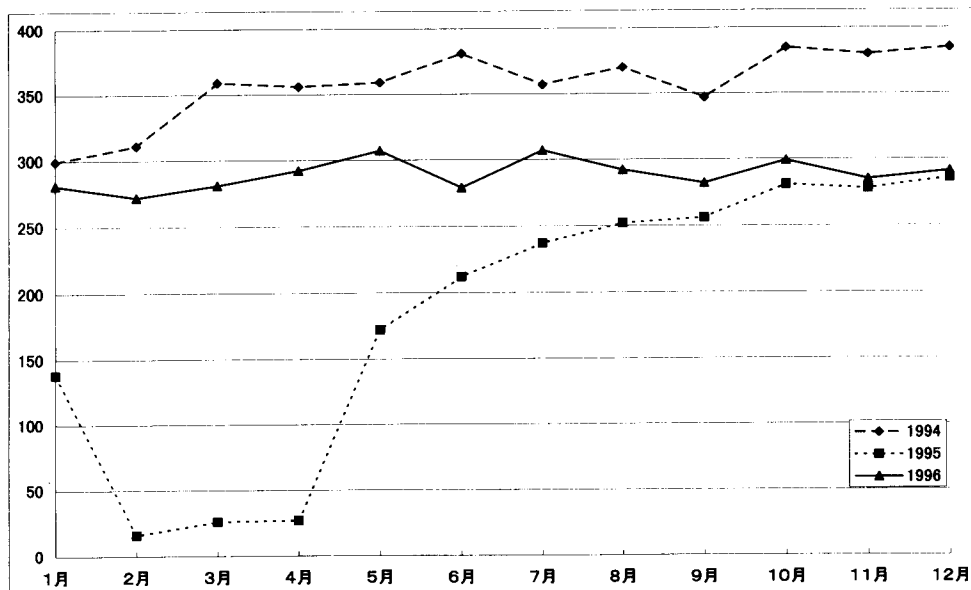
これは、日本海沿岸諸港・西日本諸港と釜山港を結ぶ新規コンテナ航路や、大規模コンソーシアムの結成による中国から北米・欧州への直行便の配船が増加するなど貨物の回復に影響を及ぼしている一要因と考えられ、また、国際海上コンテナターミナルとしての国際競争力の低下とも考えられる。

神戸港が国際ハブ港としての機能回復を図るため、物流コストの削減、ターミナルの効率的運用等が重要な課題となっており、ハード面の強化のみならずソフト面の強化も強く要望されている状況である。

神戸港が国際貿易港として、産業・経済発展の一躍を担い、成長著しいアジア諸港の台頭に対しての優位性を保持し、国際競争力を確保していく必要がある。

このため、近年の急速な船舶の大型化に対応し、将来のコンテナ貨物の増加にも対応した港湾施設の整備を行うため、大水深・高規格コンテナターミナルの建設を進めているところである。

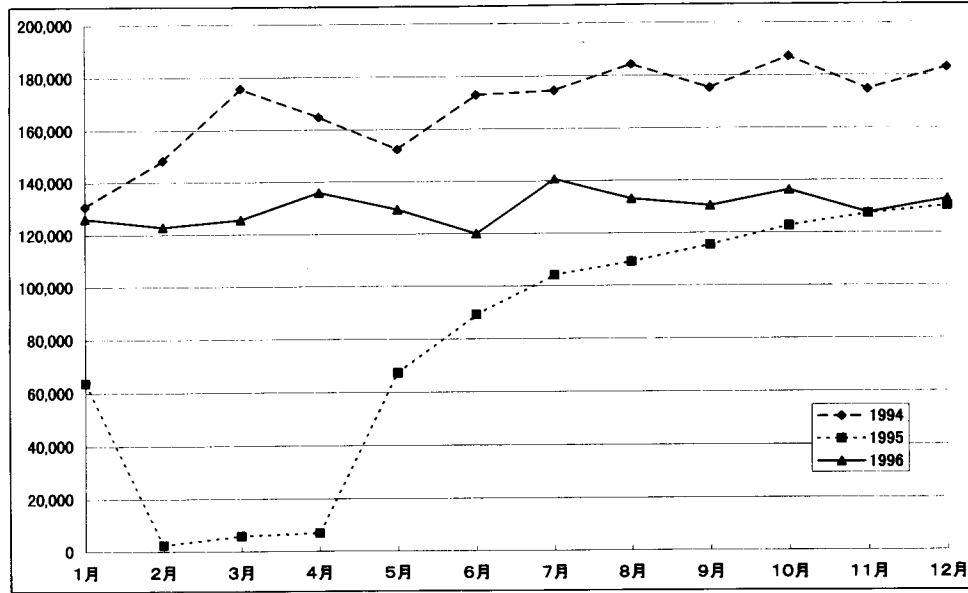
公社コンテナ船埠頭入港隻数



※ H6~H7入港については、神戸港大観より
※ H8入港隻数については、兵庫県港運協会より



公社コンテナ船埠頭コンテナ取扱個数 (単位: TEU)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1994 (H.6)	130,712	148,365	175,700	164,846	152,371	172,949	174,544	184,256	175,271	187,205	174,713	183,038
1995 (H.7)	63,694	2,380	5,858	6,954	67,223	89,134	104,098	109,152	115,479	122,700	127,271	130,167
1996 (H.8)	126,116	122,775	125,542	135,882	129,230	119,994	140,670	133,043	130,331	136,285	127,585	132,833

※ H6～H7入港については、神戸港大観より
 ※ H8入港隻数については、兵庫県港運協会より

神戸港コンテナ貨物回復状況 (1995年～1996年) (単位: TEU)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1994 (H.6)	公共	50,921	41,442	49,676	47,212	50,434	51,328	50,903	49,516	48,707	57,555	56,999	60,345	615,038
	公社	130,713	148,364	175,701	164,847	152,371	172,950	174,543	184,256	175,272	187,206	174,713	183,039	2,023,975
	計	181,634	189,806	225,377	212,059	202,805	224,278	225,446	233,772	223,979	244,761	231,712	243,384	2,639,013
1995 (H.7)	公共	17,980	4,723	11,560	17,467	23,184	27,571	38,180	37,584	41,948	45,599	38,810	38,819	343,425
	公社	63,694	2,379	5,857	6,953	66,699	90,241	104,545	112,714	114,093	120,685	125,282	126,110	939,252
	計	81,674	7,102	17,417	24,420	89,883	117,812	142,725	150,298	156,041	166,284	164,092	164,929	1,282,677
1996 (H.8)	公共	35,907	43,609	39,923	40,530	43,344	39,525	40,788	39,985	43,113	44,750	40,240	44,758	496,472
	公社	126,116	122,775	125,542	135,882	129,230	119,994	140,670	133,043	130,331	136,285	127,585	132,833	1,560,286
	計	162,023	166,384	165,465	176,412	172,574	159,519	181,458	173,028	173,444	181,035	167,825	177,591	2,056,758
1995 (H.7) 回復率 (%)	公共	35.3%	11.4%	23.3%	37.0%	46.0%	53.7%	75.0%	75.9%	86.1%	79.2%	68.1%	64.3%	55.8%
	公社	48.7%	1.6%	3.3%	4.2%	43.8%	52.2%	59.9%	61.2%	65.1%	64.5%	71.7%	68.9%	46.4%
	計	45.0%	3.7%	7.7%	11.5%	44.3%	52.5%	63.3%	64.3%	69.7%	67.9%	70.8%	67.8%	48.6%
1996 (H.8) 回復率 (%)	公共	70.5%	105.2%	80.4%	85.8%	85.9%	77.0%	80.1%	80.8%	88.5%	77.8%	70.6%	74.2%	80.7%
	公社	96.5%	82.8%	71.5%	82.4%	84.8%	69.4%	80.6%	72.2%	74.4%	72.8%	73.0%	72.6%	77.1%
	計	89.2%	87.7%	73.4%	83.2%	85.1%	71.1%	80.5%	74.0%	77.4%	74.0%	72.4%	73.0%	77.9%

・ H6及びH7、1～4は神戸市港湾整備局資料、H7、5～は兵庫県港運協会資料による
 ・ 1995 (H7) 及び1996 (H8) の回復率は、いずれも1994 (H6) の震災前との比較をしたものである。



11.2 最新鋭コンテナ船埠頭の整備

大水深・高規格コンテナターミナルの整備は、ポートアイランド（第2期）において、1991年（平成3年）からPC14、15バースに着手している。

当該バースは、震災により一部手戻りが発生し、工事の一時中断等を余儀なくされたが、耐震性の向上を図り当初予定であった1996年（平成8年）4月に、関係者の多大な努力により無事供用することができた。

PC14、15バースは、6,000TEU積み級大型コンテナ船に対応する、わが国初の水深15m岸壁である。

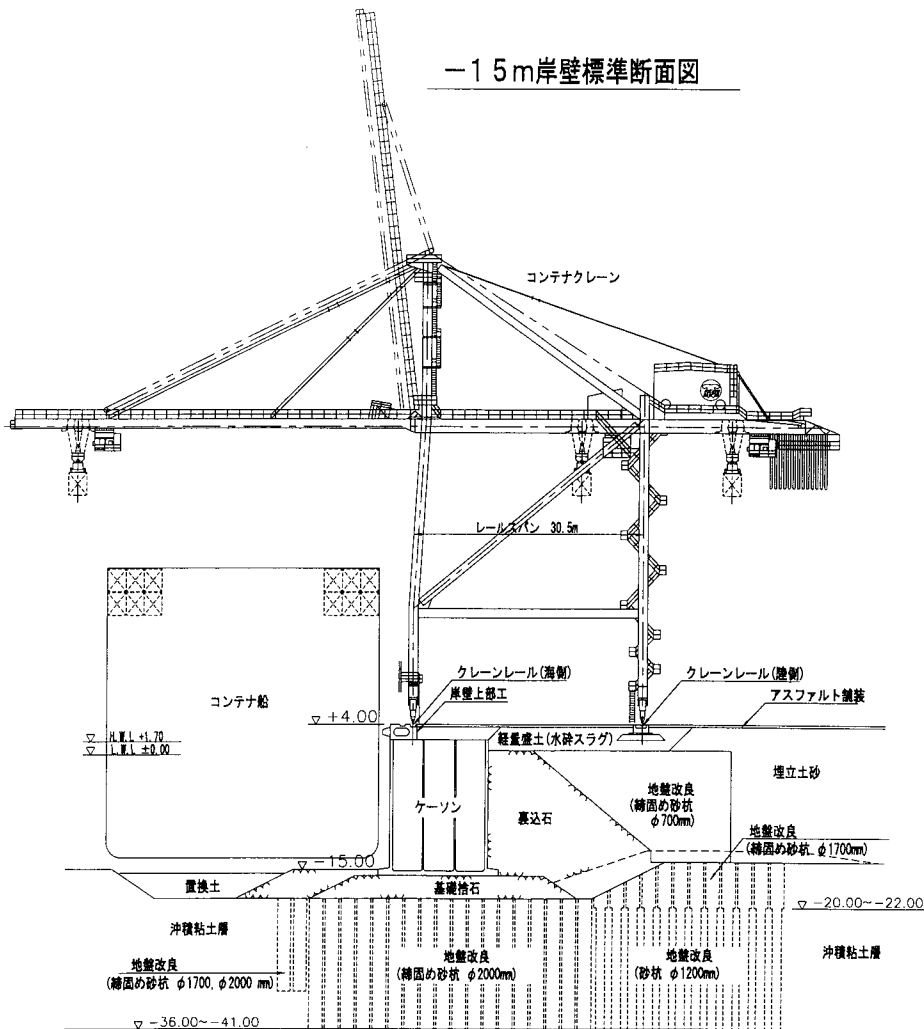
このターミナルは、岸壁延長700m（2バース）、奥行350 mでありヤード総面積25.16 haを有し、コンテナクレーンはオーバーパーナマックス船対応（16列積み対応）が5基設置されており、半自動運転装置を搭載している。

また、ポートアイランド（第2期）PC16、17バースについては、水深15m、岸壁延長700m（2バース）、奥行350mのヤード総面積25.11 haのコンテナターミナルが、1988年（平成10年）2月に供用を開始した。

当該バースにはコンテナクレーンが5基設置されており、16列積みコンテナ船対応3基と将来のコンテナ船の大型化に対応する18列積みコンテナクレーンが2基設置されている。

昨今の神戸港におけるコンテナ船の入港状況を見ると、全長約347m、型幅42.8m、総トン数約9万2千トン、満載喫水14.5mという超大型コンテナ船が出現しており、コンテナ積数は7,000TEU以上ともいわれている。

神戸港においては、これら船舶の大型化等に対応するとともに国際海上コンテナターミナルの拠点整備として、さらに、ポートアイランド（第2期）に2バース、六甲アイランド南地区に4バースの大水深・高規格コンテナターミナルの整備を計画している。



—15m岸壁標準断面図

ポートアイランド（第2期）-15m岸壁標準断面図



神戸港の高規格コンテナ船埠頭の整備状況1998年（平成10年）3月現在

	地 区	バース名	延長×奥行 (m)	バース 面積 (ha)	水深	備 考
供 用	ポートアイランド (第Ⅱ期)	PC14、15	700×350	25.1	-15m	1996年（H.8） 4月供用
	ポートアイランド (第Ⅱ期)	PC16、17	700×350	25.1	-15m	1998年（H.10） 2月供用
建 設 中	ポートアイランド (第Ⅱ期)	PC13	350×350	11.6	-15m	2003年度（H.15） 予定
計 画	ポートアイランド (第Ⅱ期)	PC18	350×500	15.4	-15m	2003年度（H.15） 予定
	六甲アイランド 南	RC8～11	1,400×500	70.0	-15m～ -16m	未 定

